

bibtex を使用して参考文献を表示する

ER18028 久保 宏樹

2020 年 12 月 20 日

1 bibtex について

chapter5_bibtex.tex と chapter5_bibtex.tex と reference.bib を照らし合わせて読んでください。

bib ファイルを作成して、そこに参考文献の情報を記述します。ここに記述するデータベースを bibtex と言います。今回は、「reference.bib」という名前にしました。

有名な論文の場合、「論文名 bibtex」と検索すると bibtex がヒットすることが多いです（他に調べる方法や、自分で作成する方法は気になったら調べてください）。今回は LSTM という論文の情報を「LSTM bibtex」で検索して調べました。bibtex の記述があるサイトが見つかると思うので、基本的にはそれを bib ファイルにそのままコピー＆ペーストすれば OK です。

LSTM[?] のように、参考文献を参照することが可能です。一度も参照されていない文献はページ下部の「参考文献」の欄にも表示されないので注意してください。また、bibtex は通常のコンパイルでは、反映されないため「pLaTeX(ptex2pdf)」「pBibTeX」「pLaTeX(ptex2pdf)」「pLaTeX(ptex2pdf)」の順番でコンパイルする必要があります。

VScode で環境構築が完了している場合、「LaTeX Workshop:Build with recipe」を実行するショートカットを入力「build-and-bibtex」を選択してください。

chrome の拡張機能 bibtex entry from url[?] を使用すれば、web サイトの bibtex 情報も簡単に取得することが可能です。ただし、url を記述する場合は usepackage に hyperref を指定する必要があります。

2 課題

必須：author を自分の名前、date を提出日に変更してください。

任意：reference.bib に参考文献を追加してください（参考文献は何でも可）。また、cite を使用して「LSTM[?）」の様に参照してください。

編集が完了したら、コンパイルしてください。

VScode で編集している場合、「LaTeX Workshop:Build with recipe」を実行するショートカットを入力「build-and-bibtex」でコンパイル「ctrl+alt+V」で出力される pdf をプレビューできるので変更点が反映されていることを確認してください。